

## イベント等に関する感染症防止対策チェックリスト

- イベント等を開催する際は、このチェックリストに記載の各項目の実施を徹底いただきますようお願いいたします。
- イベント等の開催前に、対応できる項目に□を入れ、施設管理者に提出してください。
- 参加者が自由に移動でき、かつ入退場時や区域内の適切な行動確保ができないイベント等については、開催を慎重に検討してください。
- 全国的な移動を伴うイベント又は参加者が1,000人を越えるイベントを開催する場合には、事前に熊本県と相談する必要がありますので、施設管理者にご相談ください。
- なお、本市のリスクレベルや周辺地域での感染状況等によっては、市としてのイベント等の開催・中止を判断することがありますので、あらかじめご了承ください。

イベント等 名称：	開催日：	会場：	参加 人数：
主催者名：	担当者：	連絡先：	
		メールアドレス：	

私は、上記イベントの開催にあたり、本チェックリストに記載の各項目を順守するとともに、業種ごとに策定されるガイドラインに基づく適切な感染症防止対策を徹底いたします。

住 所

氏名または名称

代表者の氏名

項目	確認事項	チェック
<b>▶開催前</b>		
事前周知	イベント等の中で感染者が発生した場合に備え、参加者に対し、保健所の聞き取りに協力する同意を得ること。	<input type="checkbox"/>
	濃厚接触者となった場合は、接触してから2週間を目安に自宅待機の要請が行われる可能性があることをあらかじめ参加者に周知すること。	<input type="checkbox"/>
	具合の悪い方の参加は認めないことをあらかじめ参加者に周知すること。	<input type="checkbox"/>
	イベント参加者に接触確認アプリをインストールすることを促すこと。 (例、アプリのQRコードを入口に掲示する 等)	<input type="checkbox"/>
	イベント等の前後において、公共交通機関・飲食店等での密集を回避するため、交通機関・飲食店等の分散利用を注意喚起すること。	<input type="checkbox"/>
入場制限	入場を断つた際の払い戻し措置を規定しておくこと。	<input type="checkbox"/>
人数制限	別紙「イベント等の開催に係る人数上限・収容率の目安」における、制限の範囲内であること。	<input type="checkbox"/>

項目	確認事項		チェック
<b>▶会場の環境</b>			
密閉	換気の実施	【屋内のみ】 入口のドアや窓を開け、換気扇を回すなど、定期的に換気を行うこと。 ※こまめにエアコン温度を調整し室内温度を確認するなど熱中症予防についても注意すること	<input type="checkbox"/>
密集	対人距離	イベントの態様に応じた適切な距離を確保すること ※別紙「イベント等の開催に係る人数上限・収容率の目安」参照	<input type="checkbox"/>
		入退場時、待合場所等の密集を回避すること。（例、時間差での入退場 等）	<input type="checkbox"/>
密接	入場制限	入場人数や滞在時間を制限すること。	<input type="checkbox"/>
	対人距離	入退出時や集合場所等における十分な間隔を確保すること。	<input type="checkbox"/>
手洗い・消毒		会場の入口等に消毒設備を設置すること。 また、参加者へ十分な手洗いを徹底するよう案内すること。	<input type="checkbox"/>
		主に参加者の手が触れる場所を定期的に消毒すること。	<input type="checkbox"/>
<b>▶開催時の対応</b>			
発熱等の対応		入場時等に検温を実施し、発熱がある者は参加を認めないこと	<input type="checkbox"/>
		その他、風邪や味覚障害等の症状の有無を確認し、具合の悪い方には、参加を認めないこと。	<input type="checkbox"/>
マスクの着用等		マスクの着用やこまめな手洗い、咳エチケットを徹底すること。 また、マスクを着用していない者がいた場合、個別に注意等ができる。 (マスクを持参していない者がいた場合は主催者側でマスクを配布する。但し乳幼児等特別の事情がある場合を除く) ※マスク着用については、熱中症予防についても注意すること。	<input type="checkbox"/>
音響調整		大声での会話が行われないよう、BGMや機械の効果音等を最小限に調整すること。	<input type="checkbox"/>
大声を出さないことの担保		大声を出す者がいた場合、個別に注意等ができる。 ※隣席の者との日常会話程度は可（マスク着用が前提） ※演者が歌唱等を行う場合、舞台から観客まで一定の距離を確保（最低2m）	<input type="checkbox"/>
演者・観客間の接触		演者・選手等と観客が接触しないよう確実な措置を講じること。	<input type="checkbox"/>
共有物の管理		共有して使用した物の適正な管理（廃棄や洗濯、消毒の徹底等）を実施すること。	<input type="checkbox"/>
廃棄物の処理		ごみ箱等を設置した場合、鼻水、唾液などがついたごみはビニール袋に入れて密閉する。また、回収時にはマスクや手袋を着用する。	<input type="checkbox"/>
人員配置		「三つの密」の回避等、感染防止の対応に人員の配置が必要な場合、人員を確保し適切に配置すること。	<input type="checkbox"/>
飲食の制限		休憩時間中及びイベント前後の食事等による感染防止の徹底をすること。 飲食用に感染防止策を行ったエリア以外での飲食を制限すること。 食事の提供は、大皿などの取り分けは避け、パッケージされた軽食を個別に提供する等の工夫をすること。	<input type="checkbox"/>
連絡先把握		可能な限り事前予約制とし、事前予約時または入場時に、利用者の連絡先を把握すること（個人情報の取扱いに十分注意） ※接触確認アプリを活用する場合には不要	<input type="checkbox"/>

※ チェックリストの対応ができない場合、代替措置を講じ、施設管理者と協議、了解を取ること。

提出先：熊本市食品交流会館

F A X : 096-245-5122

メール：[shokuhinkouryukaikan@foodpal-kumamoto.jp](mailto:shokuhinkouryukaikan@foodpal-kumamoto.jp)

# (別紙) イベント等の開催に係る人数上限・収容率の目安

- 人数上限及び収容率要件による人数のいすれか小さいほうを限度とする
- 業種別ガイドラインの見直しを前提に、イベント等の主催者及び施設管理者の双方において、必要な感染防止対策が担保・公表される場合、下記の取扱いとする（それ以外の場合、従来の制限を目安とする）

時期	①人数上限	②収容率	
		大声での歓声・声援等がないことを前提としたもの	大声での歓声・声援等が想定されるもの
<b>9/19～当面11月末まで</b>		<b>100%以内</b> (席がない場合は適切な間隔)	<b>50%以内</b> (席がない場合は十分な間隔)
<b>イベントの類型</b>			
<b>コンサート・演劇・スポーツイベント等</b> ※参加者の位置が固定 (座席や立ち位置固定)	<p>①収容人数10,000人超 →<b>収容人数の50%</b></p> <p>②収容人数10,000人以下 →<b>5,000人</b></p> <p>※「熊本市におけるイベント等の開催に関する基準」が順守できない場合は、これまで同様<b>5,000人以下</b>かつ収容率<b>50%以内</b>（屋外：<b>2m</b>程度の間隔）とする</p>	<p>下記①～③すべてを満たす場合</p> <p>①これまでの当該出演者・出演団体の開催実績において観客が大声での歓声・声援等を発し、又は歌唱する等の実態が見られないもの（実績がない場合は類似イベントに照らしこれらが想定されないもの）</p> <p>②これまでの開催実績を踏まえ、マスクの着用を含め、個別の参加者に対して感染防止対策の徹底が行われている等、それに発声する演者と観客の距離が適切に保たれている等、感染対策等が感染拡大予防ガイドラインに盛り込まれ、それに則った感染防止対策が実施されるもの</p> <p>■ 収容員が設定されている場合は<b>100%以内</b></p> <p>■ 設定されていない場合は空が発生しない程度の間隔（最低限人と人が接触しない程度の間隔）</p>	<p>■ 収容員が設定されている場合は<b>50%以内</b></p> <p>■ 設定されていない場合は十分な人ととの距離（1m）を要する</p>
<b>展示会・地域の行事等</b> ※参加者が自由に移動			
<b>全国的・広域的なお祭り・野外フェス等</b>		クラスター対策が困難であることから、中止を含めて慎重に判断	
		大声での歓声・声援等がないことを前提とした他の施設（美術館、博物館、動植物園、遊園地等）についても同様の考え方を適用	

## 【具体例1】

- ・熊本城ホールのメインホール（収容人数2,300人）でクラシックコンサートを行う場合

①人数上限 = 2,300人

$$\text{②収容率} = 2,300 \times 100\% = 2,300 \text{人}$$

⇒ ① > ②のため、参加者の上限は2,300人（以下）

## 【具体例2】

- ・熊本城ホールのメインホール（収容人数2,300人）でロックコンサートを行う場合

①人数上限 = 2,300人

$$\text{②収容率} = 2,300 \times 50\% (\text{以内}) = 1,150 \text{人}$$

⇒ ① > ②のため、参加者の上限は1,150人（以下）